



養老町人口ビジョン

(改訂版)

第2期まち・ひと・しごと創生

養老町総合戦略

概要版



© 1997 Estate of Madeline Gins. Reproduced with permission of the Estate of Madeline Gins.



養老町人口ビジョン(改訂版)/第2期まち・ひと・しごと創生 養老町総合戦略

概要版

養老町人口ビジョン

総人口の推移

養老町の人口の推移をみると、1995年(平成7年)の33,694人をピークに減少しており、2015年(平成27年)では29,029人となっています。

人口の将来目標

国勢調査によれば、本町の人口は1995年をピークに減少を続けています。国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計によると、このままのペースで人口が減少した場合、2030年には22,188人、2045年には15,445人になると見込まれます。

本町では、2005年以降、出生数の減少による人口の自然減(死亡数が出生数を上回っている状態)が続いています。また、2001年以降は、人口の社会減(転出者が転入者を上回っている状態)が続いています。

こうした現状をふまえ、今後は、結婚や就職などによる若い世代の転出を減らし、良好な居住環境などの魅力をPRして転入者の増加をめざす等の施策が必要となります。

今回分析した複数の人口推計パターンのうち、転出人口を半減させる施策の効果を見込んだパターンを本ビジョンが掲げる人口の将来目標とし、2030年における人口を23,000人、2040年における人口を19,500人とします。

2015年 29,000人

2040年に19,500人をめざす



養老町総合戦略

基本的視点

1 多様な主体が参画し、関係人口の拡大をめざす

国の第2期総合戦略では、関係人口の拡大をめざす施策が記載されています。関係人口とは、特定の地域に継続的に多様な形で関わる人を意味しています。多様な主体が関わりを持ちながら、本町の魅力を活かした地域づくりを進めていくことを基本的視点とします。

2 地域の魅力を活かしたまちづくりをめざす

養老町の魅力的な資源を大切に、多くの人に触れていただき、これらを積極的に活かすまちづくりを進めます。養老町の多様な資源の魅力を効果的に発信し、多くの人に関わり、交流していくことで地域の活力を高めていくことを基本的視点とします。

3 持続可能なまちづくりを推進します

様々なまちづくり活動の継続をはじめ、産業や環境面での持続可能な社会づくり、持続可能な行政経営の実現に努めます。

SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発のための目標)の考え方をあらゆる分野に導入して推進することを基本的視点とします。

推進・検証体制

1 PDCA サイクルによる推進

基本目標ごとに成果指標を掲げるとともに、施策ごとの重要業績評価指標(KPI)を設定することにより、政策の効果を検証し、改善を行うしくみ(PDCAサイクル)により戦略を推進します。

2 協働による取組みの推進

町民をはじめ、産業、行政、教育、金融などの代表者で構成する「養老町地方創生推進委員会」において、この戦略の立案・推進にあたっての意見交換を行うほか、戦略の内容についての評価・検証を行います。

基本目標

1 魅力あふれる地域づくり

養老町の魅力を町外に発信して多くの人に知っていただくとともに、実際に養老町に触れ、関わりを持ってもらう取組みを進め、関係人口の増加をめざします。そのために、地域づくりの担い手を育てるとともに、養老町の魅力を再発見しその資源を活かす取組みを継続できる、持続可能な実施体制の構築をめざします。

また、地域の魅力を未来につないでいくために、循環型のまちづくりを推進します。

2 未来を担う人づくり

次代を担う子どもたちが、地域への誇りや愛着を持つことができ、豊かな心を育めるような質の高い教育を行います。さらに、学校におけるいじめや不登校、引きこもりの問題なども含めて、青少年の健全育成策に取組みます。

また、全ての人の人権に対する正しい理解を促し、人権が尊重されるまちづくりを進めます。

3 安心・安全な生活基盤づくり

生活習慣病の予防、疾病の重症化予防、介護予防など、多様な健康づくりを進め、安心して生活できるまちづくりを進めます。

また、地域で安心して生活できる地域福祉施策を進めるとともに、子どもと子育て家庭、高齢者、障がい者・児に対する各種福祉施策を進めます。

さらに、防犯・防災対策、交通安全対策などを充実し、安全で安心できるまちづくりを進めます。

4 活力あふれる基盤づくり

交通網や情報基盤の充実を図ります。

また、快適な住環境を整備し、移住定住対策を推進します。

さらに、地域の活力を高める多様な産業の振興を図ります。



5 行政経営機能の強化

まちづくりビジョンを実行し、成果をあげていくため、持続可能な行財政運営を推進します。また、今後の社会環境の変化や新たな課題の発生等にも対応できるよう、行政組織のマネジメント機能の強化を図ります。

具体的な施策

1 多くの関係人口を有するまち

- 観光資源の活用
- 森林資源の有効活用
- 文化遺産の保護や伝統行事などの維持継承
- 移住・定住の促進
- 広域観光の推進
- 養老ブランド戦略の推進
- 地域コミュニティの活性化

2 循環型で持続可能なまち

- 脱炭素型社会の推進

1 質の高い教育が実施されるまち

- 教育の充実
- 大学の高等教育機関との連携
- スポーツの振興と交流の促進

2 すべての人の人権が尊重されるまち

- 男女共同参画の推進
- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 女性の活躍支援

1 みんなが支えあい、健康で安心して暮らせるまち

- 非婚化・晩婚化対策
- 子育て支援の充実
- 子育て世帯・多子世帯等に対する支援
- 妊娠を望む夫婦の経済的負担の軽減

2 安全対策が充実し、安心して暮らせるまち

- 医療と福祉の連携
- 地域の防犯・防災力の強化
- 救急搬送・受入体制の確保

1 生活や交流の基盤が整ったまち

- 中心市街地の活性化
- 空家等対策の推進
- 交通ネットワークの維持・充実

2 多様な産業が活発なまち

- 企業立地の支援
- 若者・有能なモノづくり人材の確保・流出防止
- 障がい者の一般就労拡大
- 農業の6次産業化の推進
- 就労希望者と企業とのマッチングの促進
- 産業振興と雇用促進
- 地元企業の育成支援
- 農業生産基盤の効果
- 農業の担い手の確保・育成

1 まちづくりビジョンを実行し、実現できるまち

- 行政の効率化と公共施設の維持管理
- 西濃圏都市町の連携推進



養老町人口ビジョン(改訂版)

第2期まち・ひと・しごと創生

養老町総合戦略

概要版

養老町役場 総務部企画政策課

〒503-1392 岐阜県養老郡養老町高田798番地

TEL (0584) 32-1102 FAX (0584) 32-2686

<https://www.town.yoro.gifu.jp/>

令和3年3月発行

